

# 令和5年度輪之内町長選挙 立候補者アンケート

## 朝倉 和仁 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOやボランティアなどの住民団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、輪之内町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

国と地方との関係において、地方における計画策定の義務付けが大きな課題になっています。また、同じ地方といっても規模の大小があり、輪之内町のような小規模自治体においては、一人の職員が広範囲の業務に携わっているため、これら計画策定作業の負担は大きく、作ること自体が目的になって、中身の専門的な議論が十分に行えていない場合があると伺っています。諸々計画策定の最初の構想段階からNPO等が関わることで、地域の課題等を踏まえ実情に即した身近な計画づくりができるとともに、その後の町民への周知と円滑な実践が図れるものと考えます。

### 2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

輪之内町では、「輪之内町第六次総合計画 基本目標6 豊かさにつながるのあるまちづくり 6-1 自治会・コミュニティ・地域協働」に、地域づくりの新たな担い手としてNPOの参加を図ることが書かれています。NPO等の活動をより推進していくために、活動費の補助や人材育成、その他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

安い地価や勤務地に近いなどの利点から、輪之内町の各自治会にあっては従来の農家世帯中心から近年では非農家世帯の割合が増え、自治会としての合意形成に苦慮すると言っていることを聞きます。自ずと、行政と住民との関係もこれまでのように暗黙の了解でも事が済むという訳にはいかず、橋渡しとしての役割を果たすような存在がNPO等に求められるものと考えます。その活動を将来に向けて継続させていくためには行政が積極的にNPO等の活動内容を広報し、参加を促していくとともに、活動経費、特にデジタル化などに対応するための備品等への支援を充実させたいと考えます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「輪之内町まちづくり基本条例」ではまちづくりに協働して取り組むための仕組みと方針を定め、協働のまちづくりに取り組んでいます。今後も輪之内町のまちづくりのために、輪之内町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

・

いいえ

・

その他

1) で述べたように、輪之内町のような小規模自治体においては、行政職員数に余裕はなく、特に専門性を求められるような分野においては、NPO等外部人材との協働は不可欠です。

今回の出馬にあたり、「未来につなげる」をスローガンとしていますが、これはSDGsを念頭に入れたもので、特に、子どもたちに世界的な課題である環境問題に興味、関心を持ってもらいたいと考えてのものです。環境に限らず福祉、文化、スポーツどのような分野でも構わないので、子どもたちが将来に向けて小さいうちからNPO的、公益的なことに興味を持ってくれるような教育カリキュラムを取り入れていけたら、と考えています。

ご協力ありがとうございました。